

社会資本総合整備計画

四万十町志和地区における南海トラフ巨大地震等による大規模災害に備えた災害に強い地域づくりの推進(重点)(防災・安全)

(第1回変更)

四万十町

平成29年3月
平成30年1月

(参考様式2) 社会資本総台整備計画(防災・安全交付金)

平成29年3月8日

計画の名称		四万十町志和地区における南海トラフ巨大地震等による大規模災害に備えた災害に強い地域づくりの推進(重点)(防災・安全)		四万十町		重点配分対象の該当						
計画の期間		平成29年度～平成32年度(4年間)		交付対象		O						
計画の目標												
<p>四万十町志和地区は、近い将来の発生が予測される「南海トラフ巨大地震」の被害想定において、低地の大部分が津波浸水エリアとなっており、甚大な被害が予測されている津波被害への早急な対応が求められている。本計画では、避難場所や避難経路を整備することにより、高齢者の多い本地区の避難対策の充実、強化を進め、災害に強いまちづくりを推進する。</p>												
<p>計画の成果目標(定量的指標)</p> <p>津波に対する避難困難地域を解消する。</p>												
<p>定量的指標の定義及び算定式</p>												
津波避難困難者の解消率(志和地区 254人)		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (R2末)	備考							
		82%	92%	100%	・四万十町津波避難対策緊急事業計画(平成28年10月)に基づき実施される 要事業:A-1							
全体事業費		合計 (A+B+C+D)	115百万円	93百万円	22百万円	19.1%						
			136.9百万円	111.0百万円	25.9百万円	C/(A+B+C+D)						
<p>交付対象事業</p>												
<p>A 基幹事業</p>												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	市町村名	事業実施期間(年度)	全体事業費(百万円)	費用使率比	個別施設計画	備考	
A-1	都市防災	一般	四万十町	四万十町	都市防災総合推進事業(志和地区)	四万十町	H29 R1 R2 R3	93 111.0	-	-	別添	
<p>合計</p>								0				
<p>B 関連社会資本整備事業</p>												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	事業者	要素となる事業名	市町村名	事業実施期間(年度)	全体事業費(百万円)	費用使率比	個別施設計画	備考	
						四万十町	H29 R1 R2 R3					
<p>合計</p>												
<p>C 効果促進事業</p>												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	事業者	要素となる事業名	市町村名	事業実施期間(年度)	全体事業費(百万円)	費用使率比	個別施設計画	備考	
C-1	施設整備	一般	四万十町	四万十町	災害に強いまちづくり事業	四万十町	H29 R1 R2 R3	22 25.9				
<p>合計</p>								26				
<p>一体的に実施することにより期待される効果</p>												
C-1	A-1と一体的に実施し、迅速で安全な避難ができる。											
<p>D 社会資本整備円滑化地籍整備事業</p>												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	市町村名	事業実施期間(年度)	全体事業費(百万円)	費用使率比	個別施設計画	備考	
						四万十町	H29 R1 R2 R3					
<p>合計</p>												
<p>一体的に実施することにより期待される効果</p>												
C-1	A-1と一体的に実施し、迅速で安全な避難ができる。											

(参考様式2) 社会資本総合整備計画(防災・安全交付金)

計画の名称	四万十町志和地区における南海トラフ巨大地震等による大規模災害に備えた災害に強い地域づくりの推進(重点)(防災・安全)			重点配分対象の該当	○					
計画の期間	平成29年度～平成32年度(4年間)	交付対象	四万十町							
計画の目標	四万十町志和地区は、近い将来の発生が予測される「南海トラフ巨大地震」の被害想定において、地域の大部分が津波浸水エリアとなっており、甚大な被害が予測されている津波災害への早急な対応が求められている。 本計画では、避難場所や避難経路を整備することにより、高齢者の多い本地区の避難対策の充実、強化を進め、災害に強いまちづくりを推進する。									
計画の成果目標(定量的指標)	津波に対する避難困難地域を解消する。									
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H29当初) 82% 中間目標値 (H29末) 92% 最終目標値 (R2末) 100%									
津波避難困難者の解消率(志和地区 254人)	40万十町津波避難対策緊急事業計画(平成28年10月)に基づき実施される 要素事業:A-1									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	115百万円 136.9百万円	A	93百万円 111.0百万円	B	22百万円 25.9百万円	C	D	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	19.1%

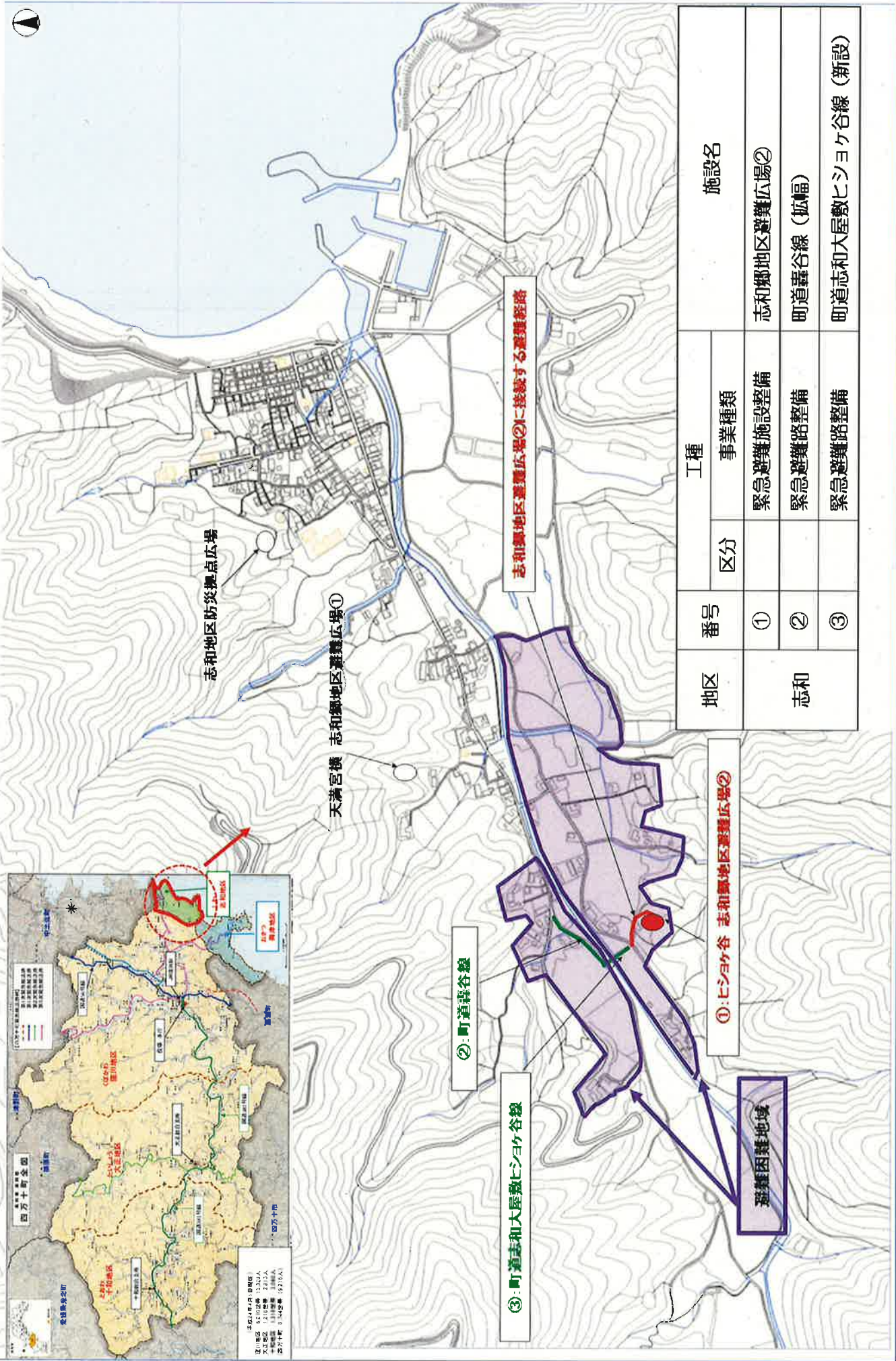
交付金の執行状況

	H29	H30	R1	R2	R3
配分額 (a)	43	29	16	11	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	43	29	16		
前年度からの繰越額 (d)	0	23	18	16	
支払済額 (e)	21	34	24		
翌年度繰越額 (f)	23	18	16		
うち未契約繰越額 (g)	4	3	1		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率 + 不用率 (h = (g+h)/(c+d))	9.4%	4.9%	2.9%		
未契約繰越率 + 不用率が10%を超えている場合その理由					

※ 平成29年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称 四万十町志和地区における南海トラフ巨大地震等による大規模災害に備えた災害に強い地域づくりの推進(重点)(防災・安全)
 計画の期間 平成29年度～平成32年度(4年間)
 交付対象 四万十町



地区	番号	工種		施設名
		区分	事業種類	
志和	①		緊急避難施設整備	志和郷地区避難広場②
	②		緊急避難路整備	町道再谷線(拡幅)
	③		緊急避難路整備	町道志和大屋敷ヒシヨケ谷線(新設)

①: ヒシヨケ谷 志和郷地区避難広場②

②: 町道再谷線

③: 町道志和大屋敷ヒシヨケ谷線

避難困難地域

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:

四万十町志和地区における南海トラフ巨大地震等による大規模災害に備えた災害に強い地域づくりの推進(重点)(防災・安全)

事業主体名:

四万十町

子エック欄	
I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1) 基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
<small>(該当するものに○) 1 国土形成計画全国計画 2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 3 社会資本整備重点計画 4 環境基本計画 ⑤ その他(高知県南海トラフ地震対策行動計画、地域防災計画)</small>	
②地域の課題への対応	
1) 地域の政策課題を踏まえて、整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が期待できる。	○
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1) 災害に強いまちづくりに向けた機運がある。	○
2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 計画について、地域住民との合意形成が図られている。	○